

## 平成30年度第1回デイサービスセンターしいの木運営推進会議議事録（要旨）

1 開催日時 平成30年10月25日（木）午後2時30分から午後3時30分まで

2 開催場所 豊山町総合福祉センターしいの木 2階 会議室

### 3 出席者

- |                    |         |
|--------------------|---------|
| (1) 利用者の家族代表       | 水野 新一 様 |
| 同上                 | 市川 康正 様 |
| 地域の住民代表（諏訪自治会長）    | 中西 正司 様 |
| （民生協議会会長）          | 安藤 紀夫 様 |
| 豊山町の代表（役場福祉部保険課課長） | 横田 仁美 様 |
| 同上                 | 長友 妙子 様 |
| (2) 事務局            |         |
| 事務局長               | 堀場 昇    |
| 管理者兼生活相談員          | 寺村 照子   |
| 生活相談員              | 岩田 泰子   |

### 4 議題

#### 報告事項

- (1) 構成員について
- (2) 利用者状況報告について
- (3) 職員配置について
- (4) サービス内容（1日の流れについて）
- (5) 行事報告について
- (6) 職員研修について

### 5 資料

資料1 平成30年度第1回デイサービスセンターしいの木運営推進会議

- ① 構成員について
- ② 利用者状況報告（平成30年10月1月現在）
- ③ 職員配置

資料2 行事報告

資料3 スタッフ会議、研修実施及び予定表

資料4 デイサービスセンターしいの木パンフレット

### 6 事務局長あいさつ

この運営推進会議は、デイサービスセンターしいの木が、事業所の運営にあたって、地域住民と連携や協力を行うなど地域との交流を図り、地域に開かれたものとするを目的とした会議となっている。

そのため、運営推進会議の構成員は、この地域の住民代表、利用者のご家族の代表、そして豊山町の職員をお願いをした。

については、デイサービスセンターしいの木の活動状況を報告するので、忌憚のない意見、評価、助言、要望をいただきたい。

## 7 議事

【事務局】 次第の報告事項を資料1から資料4に基づき一括説明

### 【質問事項】

- ◆ 資料1 ②利用者状況報告のなかの総合事業対象者とは何か  
⇒ 平成28年度から介護保険の認定がなくても介護のサービスを受けられるようにした事業です。要支援より介護度が低く、介護度が上がらないように予防に力をいれる必要がある人向けのサービスです。
- ◆ H30年8月よりボランティアポイント制度を行っているが、新しいボランティアがきたのか、問い合わせ等があったのか、今の状況を教えてほしい。  
⇒ 2名の新しいボランティアさんが週に1回来て来ています。  
内容は、お茶出し、話し相手、趣味活動のお手伝い等をしてもらっています。  
電話での問い合わせも2件ほどありました。一人は見学にこられ、囲碁の相手をして来ていましたが、話が通じないとのことで、それ以来来ていません。
- ◆ ボランティアポイント制度とは何ですか。  
⇒ 65歳以上の高齢者が、町から指定を受けた施設等で行った活動に対して、実績に応じたポイントを付与し、活動により貯めたポイントを活動交付金や寄付金に転換して交付する制度です。
- ◆ デイサービスの登録人数が28名で、曜日別利用者数が17名ということはなぜか。  
⇒ 一日の利用定員が18名となっているためです。介護度によって利用回数が制限されること、また、利用者の希望で曜日によって違うサービスを受けられている方もいます。そこで、一日の利用定員が上回らないように曜日を変えて割り振りをお願いすることもあります。
- ◆ 運営推進会議の趣旨はなにか。  
⇒ 地域密着型通所介護事業者であるデイサービスセンターしいの木の活動状況の報告をし、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聴く機会を設けることにより、地域に開かれた事業運営及びサービスの質の向上の確保を図ることを目的としています。
- ◆ 運動器機能訓練はどのようにやってもらっているのか。  
⇒ 全員で行う体操や歩行訓練の他に、週1回、看護師がメニューをくんで個別に機能訓練を行っています。内容としては、個々の身体の状態、体調に合わせて、筋力が低下している部分や、もう少し筋力をつけたほうが良い部分を集中的に動かしたり、ボールやタオル、棒を使って体操を行っています。
- ◆ 要支援と介護の違いは、どちらの状態が悪いのか。  
⇒ 状態の軽いほうが要支援1で介護5が一番重い人です。  
さらに状態のいい方が事業対象者です。  
違いは料金やサービス内容等です。
- ◆ 構成委員が毎年違うが、一緒のほうがいいのでは。  
⇒ 利用者家族に関しては、皆さんにデイサービスを知っていただきたいので順番に来てもらっています。地域の方についてはよりよく知っていただき意見等、繁荣させていきたいので、今後どうするかは検討していきます。
- ◆ 再来年の年末年始に10連休という長い休みがあるが、利用者さんから営業してほしいとの要望などはないのか。  
⇒ 土日祝、営業してほしいとの要望はありまできるような、今の段階では無理なので、ヘルパーを利用させていただいたり、他の施設と併用の利用をして補っていただいています。

#### 【要望事項】

- ◆ もっとデイサービスのことを知ってもらう為、地元の方、家族の方との交流会をやってはどうか。推進会議の事もいろんな方が参加できるように自治会などの回覧板に載せてPRしてみてもどうか。
- ⇒ まずは今利用しておられる家族の方の交流会を考えています。  
また、行事の時に家族、地域の方に声をかけるなど、検討していきます。
- ◆ 役場の方へ  
台風など災害時、高齢者の避難はどうするのか。  
どのタイミングで避難場所へ行っていいのか。とても不安である。
- ⇒ 警報が出たら、安全に避難できる時に避難場所にきてください。  
自治会の方や民生委員さん、ご近所の方で協力していただき、高齢者の方と一緒に避難させてあげてください。  
ちなみに、今年の台風24号の時は、10名ほどの方が供用施設に避難してこられました。

#### 8 その他

次回の日程について、事務局から3月頃を予定している旨を伝達。